

令和5年度 山形県立博物館特別展 開催要項

Bones ー生き物の骨格はどうなっているのかー

1 会 期 令和5年6月3日（土）～ 8月27日（日）（開催74日）

2 会 場 山形県立博物館 第3展示室（特別展示室）

3 本展示会のねらい

我々が普段目にする動物の姿は、骨に筋肉や腱が付き、さらに表皮や羽毛、体毛などで表面が覆われてできている。私たちは常にその「外見」を通して動物の生態を考察しているが、内部構造である「骨格」は容易に見ることはできないため、その構造や仕組みについて理解する機会は少ない。本展示会では、「骨格から学ぶ動物学」をテーマとし、実物展示を通して普段見ることのできない内部構造である「骨格」の姿を見てもらい、動物の体の複雑さ・巧みさについて触れる機会とし、自然界の動物について理解を深めてもらうことをねらいとする。

また、山形県に生息する動物についても多く取り上げ、県の取り組みとして重要性が増しているSDGsの15「陸の豊かさを守ろう」の生物多様性に係る学習の機会とし、山形の自然と動物の関係について広く県民に理解を促す機会としたい。

4 展示の特色

陸上哺乳類の骨格を中心に脊椎動物の骨格標本を多数展示し、「大きさやつくりの違い、種が違っていても似ている面、動物の進化の道筋」等が分かる展示とする。また、当館が所蔵しているが普段は展示していない数多くのはく製の中から、骨格標本を展示する動物種と同種のはく製を並列展示し、骨格と外部形態の違いを実感してもらう。

展示内容としては3部構成とし、第1部は「脊椎動物の進化」として魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類の骨格標本を連続して展示し、進化の道筋を示す。骨格に見られるそれぞれの動物の共通性や、進化によって骨格がどのように変化したのかを解説する。

第2部は「骨格が示す生物多様性」として、哺乳類を中心に国内外の様々な動物の骨格を展示し、環境によって変化したその特別な特徴や、外観が異なる動物であっても骨格から分かる共通点などを示す。

第3部は「山形に生きる動物たち」として陸上哺乳類を中心とした山形県に生息する動物を紹介する。普段映像などでは目にする機会も多いものであるが、実物のはく製と骨格の両方を同時観察・比較することで、山形の動物への理解を深めるものとする。また、山形の豊かな自然がつくり出す「生物多様性」について、SDGsと関連付けながら身近な生活につながる気づきがあるように解説する。

5 主な展示資料

●第1部「脊椎動物の進化」 (15点)

<全身骨格>

- ・アジ ・サバ ・シロメバル ・モリアオガエル ・アズマヒキガエル ・ジムグリ
- ・ミズオオトカゲ ・ニワトリ ・クマタカ ・ハクビシン ・コモンリスザル

●第2部「骨格が示す生物多様性」(38点)

<全身骨格>

- ・スマトラトラ ・テナガザル ・ビーバー ・カマイルカ ・ワニガメ
- ・バショウカジキ ・トウホクサンショウウオ ・ケープハイラックス

<頭骨など>

- ・キリン ・チーター ・ライオン ・カバ ・カピバラ ・アフリカバイソン
- ・ミンククジラ ・アメリカマナティ ・マガモ ・アオウミガメ ・フタコブラクダ

●第3部「山形に生きる動物たち」(42点)

<全身骨格>

- ・ニホンカモシカ ・ニホンイノシシ ・オシドリ ・クマタカ
- ・ハヤブサ ・オオコノハズク ・トラフズク ・キツツキ ・ホンドテン
- ・ホンドタヌキ ・ニホンモモンガ ・ヤマネ ・オコジョ ・モモジロコウモリ

<頭骨など>

- ・ツキノワグマ ・ハシブトガラス ・ホンドギツネ ・イヌワシ

●その他

- ・毛皮や羽標本、角(ツノ)などを展示予定

以上95点を展示予定

6 関連行事

(1) 記念講演会 2回(各回とも13:30~15:30、演題は予定)

① 6月18日(日)「骨格標本室へようこそ！」

&「楽しいビーチコーミングで骨体験」 橋本 勝 氏

(元宮城教育大学協力研究員)

② 7月1日(土)「鯨の骨と化石の話」 大石 雅之 氏

(元岩手県立博物館学芸部長)

(2) 記念イベント 1回

7月17日(月・祝)9:30~11:30 やまがたヤマネ研究会による

「恐竜から鳥の進化が分かる!? ニワトリの足の骨格標本づくり」

(3) 展示解説会 2回(各回とも13:30~14:00) ①6月4日(日) ②8月6日(土)

7 広報予定

(1) テレビ、ラジオ、新聞等のメディア活用(プレスリリースなどの情報活用)

(2) 県外主要博物館および県内文化施設へのポスターチラシ配布

(3) 県内小中学校へのイベント広報

8 協力(調査研究・資料借用)

アクアマリンふくしま、岩手サファリパーク、大井沢自然博物館、
仙台市八木山動物公園、東北大学自然史博物館、鳥海イヌワシみらい館、
西川町教育委員会、宮城教育大学、山形県立自然博物館、山形県立山形中央高等学校、
山形大学附属博物館、やまがたヤマネ研究会